

歴の恐竜博2002 今夏、千葉市幕張メッセで開催!!

©The Greatest Dinosaur Expo 2002

日本は「世界でも最も恐竜に関心の高い国」といわれ、毎年のように開催される恐竜関連イベントや映画「ジュラシック・パーク」シリーズの大ヒットなどによって現在も恐竜人気は高い。今夏、千葉市幕張メッセを会場に、最新の研究成果を反映し、世界最大の恐竜をはじめ世界中から実物を中心とした全身骨格や部分骨の化石を集大成する「世界最大の恐竜博2002」が開催される。

- 期間 7月19日(金)～9月22日(日)会期中無休
- 会場 幕張メッセ 国際展示場9番ホール
- 開場時間 午前9時30分～午後5時30分(入場は閉場の1時間前まで)※7月、8月の金曜、土曜日は午後7時30分閉場
- 交通 JR海浜幕張駅から徒歩5分(東京駅からJR京葉線快速で28分)
- 問い合わせ先 NTTハローダイヤル03-5777-8600
公式ホームページ <http://www.dino-expo.jp/>

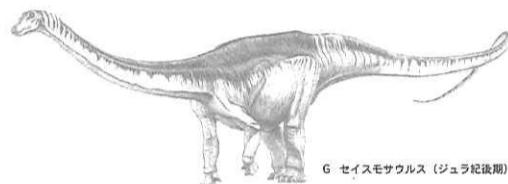
■世界最大の恐竜「セイスモサウルス」、初公開

全長約35メートルの「世界最大」の恐竜のひとつ「セイスモサウルス」が、今夏、千葉市・幕張メッセにやって来る。この博覧会のために、特別に復元されるもので、これが「世界初公開」となる。

ほかにも、羽毛の跡の付いた中国の小型恐竜、アフリカや南米から続々と発掘されている最新の恐竜化石など約40体を国内外から一堂に集め、かつてないスケールで恐竜の全体像に迫る。

「なぜ恐竜はこんなに大きくなったのか」「なぜ絶滅したのか」恐竜には、まだ多くの謎に包まれている。この博覧会では、こうした復元骨格や、化石の展示とコンピューター・グラフィックスを駆使した映像で、恐竜の全容に迫る。

夏休みの自由研究や、学校の課外授業にも最適で、大人から子供まで幅広い層に楽しめる大型博覧会だ。



G セイスモサウルス(ジュラ紀後期)

©The Greatest Dinosaur Expo 2002

■恐竜の壁新聞作りませんか

小学生から「恐竜」に関する壁新聞を募集する。7月から千葉市・幕張メッセで開かれる恐竜博覧会場などでの取材を通じ、新年度から始まる「総合的な学習の時間」や夏休みの自由研究の課題として利用してもらうのがねらいだ。

テーマは、「恐竜博にやってくる恐竜たちの世界地図を作る」「恐竜の骨が化石になる仕組みを調べる」「身近で発見された恐竜について調べる」など、恐竜博や恐竜に関する内容なら自由。壁新聞の大きさは模造紙1枚分(縦110センチ、横80センチ)。

応募は学校や塾、子ども会、友達同士など4人以上のグループ単位で、7月10日まで受け付ける。各グループには指導者が必要で、指導者には壁新聞作りのポイントをまとめたマニュアルを配布する。

恐竜博覧会での取材を希望するグループは、一般公開前日の7月18日に限り特別に無料招待する(希望多数の場合は抽選)。作品応募の締め切りは8月末。応募作品は会期中、先着順で会場に展示するほか、優秀作品を表彰する。

詳しくは、広報事務局(03-3486-0575)、または公式ホームページへ。

■恐竜化石クリーニングを間近に。参加・体験型企画も盛りだくさん

7月19日から千葉市・幕張メッセで開催される「世界最大の恐竜博2002」では、恐竜たちが生きた時代を間近に感じられるように、熊本県御所浦町から掘り出されたばかりの実物化石が埋まった岩盤を、見学者の目の前で調査クリーニングする。

熊本県御所浦町は、天草諸島の南東に位置する人口4000人の町。97年に肉食恐竜の歯の化石や足跡が発見され、一躍「恐竜の島」として知られるようになった。現地では、現在も化石発掘を続けており、恐竜博では、化石が埋まっている岩盤を丸ごと会場内に運び、会期中、専門スタッフがクリーニングを行う。中から本物の恐竜化石が見つかる「大発見」につながる可能性もあるという。

ほかに、来場者が化石を掘り出す作業を体験できる「発掘体験コーナー」や、会場内にセイスモサウルスと同じ目の高さにカメラを設置し会場を見渡すことができる「セイスモアイ」のコーナーなど、参加・体験型の企画も盛りだくさんだ。



アロサウルス(ジュラ紀後期)アーケード恐竜博物館所蔵

©The Greatest Dinosaur Expo 2002

■恐竜バスが走る

7月19日から千葉市・幕張メッセで開催される「世界最大の恐竜博2002」では、恐竜のイラストを車体にデザインした「恐竜バス」を運行する。バス内では、恐竜について解説できる「恐竜インストラクター」による講義やビデオなどで、恐竜について学ぶことが出来る。

修学旅行資料は当社におまかせください

1.手づくりのしおりはユニット資料で

- ユニットは全96種、全国の修学旅行ゾーンが16ページ、または8ページ(2色刷、カラー刷)にまとめてあります。サイズA5判で一般的な教科書と同じサイズになっています。
- 御校の旅行日程と活動内容にマッチした資料が自由に選択できます。
- 元祖「総合的な学習」資料を掲載し、写真・イラスト・図版も豊富に掲載しています。
- 旅行要項にとじ込めば、さらに充実した「しおり」になります。
- 「しおり」を地元で印刷・製本される場合は折り込み、未断裁の半製品を送付します。

2.現地の班別自主研修は乗物ガイドをマップで

京都散策乗物ガイド(食事・買物情報入) 奈良散策乗物ガイド 京都散策マップ(B2判)
奈良大和路散策マップ(A2判) 東京散策乗物ガイド 東京散策マップ(A2判)
長崎散策乗物ガイド(体験・食事、みやげ情報入) 長崎散策マップ(B2判)

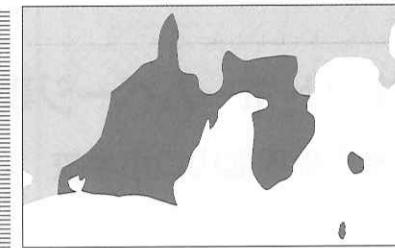
3.事前・事後の学習はじっくりビデオで

京都(I)、(II) 京都散策ガイド 奈良(I)、(II) 東京散策ガイド 日光 鎌倉

カタログ・資料進呈
詳しくはお電話ください

株式会社教材研究所

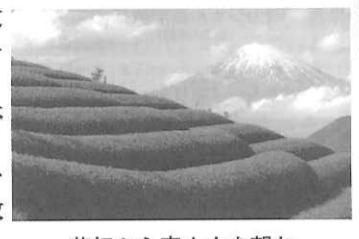
〒601-8417 京都市南区西九条鳥居町5 ● <http://www.kit-net.ne.jp/> kyozai@kit-net.ne.jp



修学旅行 最新お国じまん②

「歴史と自然、産業を学ぶ ～静岡・伊豆」

静岡県には、修学旅行をはじめ様々な教育活動に適した学習素材、体験施設が数多く点在しています。また、県内各地の人々がその余暇を利用して、それらの学習や体験の内容をサポートしており、交流を図っています。伊豆地方の臨海・漁村体験など、豊富な自然を活かした様々な形態の教育旅行の実施が可能です。



茶畑から富士山を望む

おすすめの学習素材

【伊豆の漁村体験】(下田市)

目的：豊かな水産資源に恵まれた漁港の町で、地元の人々とふれあいながら、漁村での様々な生活体験を行う。
体験メニュー：海釣り・漁船・アジの干物開き・磯の観察・漁師鍋料理・ふれあい談義・ハイキング・各種スポーツ(シーカヤック、サンドスキー、乗馬など)
体験ほか

料金：各体験メニューにより異なる(要確認)

問い合わせ先：Tel0558-22-3913(下田市觀光工商課)



伊豆の漁村体験

【西伊豆・土肥の臨海学習】(田方郡土肥町)

目的：地元の人々が日常の中で自然に行っている様々な遊びや仕事の体験を通して、生活と海との関わりを学ぶ。

◎磯の観察(磯遊び教室)

海に精通した地元の人々を講師として、磯に棲む色々な生き物を発見・観察する。

◎トビウオくい

夜間、実際に漁船に乗船し、水面に現れるトビウオなどの魚たちを網で捕獲する。

その他の体験メニュー：ところ天作り・干物作り・アサリ掘り・海草押し葉教室・地引き網体験ほか

料金：各体験メニュー内容により異なる(要確認)

問い合わせ先：Tel0558-98-0523(土肥温泉旅館協同組合)

【駿河路の歴史、自然体験】(静岡市、清水市)

◎東海大学社会教育センター

大型回遊魚を含む400種2万匹の魚たちが回遊する海洋水槽を有する海洋科学博物館でマリンサイエンスとテクノロジーを学習する。その他、自然史博物館、文化ランドなどの各種見学施設を有する。

◎帆走体験・海底調査サーバイバル

オーシャンプリンセス号に乗船しての清水港内見学。乗組員とともに帆を上げての操船(ロープワーク研修)のほか、海底の地質の解説などを受けながら、水中ビデオカメラを使用した海中の生態観察を行う。

◎登呂遺跡と弥生体験

弥生時代農耕文化の代表的な登呂遺跡の見学と、当時の生活用具を用いた、火おこし・農作業等の疑似体験。

問い合わせ先：Tel0543-34-7711(東海大学社会教育センター内・静清教育旅行誘致協議会)

おすすめの見学施設

◎黄金崎クリスタルパーク(賀茂郡賀茂村)

ガラスの原料である珪石の産地として知られる伊豆の西海岸の体験工房で、ガラスの製造工程と文化、歴史を学ぶ。工芸員の指導により、サンドblast・ステンドグラス・バーナーワークによる作品の製作体験にもチャレンジでき、隣接するミュージアムで現代の代表的なガラス作家の作品を見学し、その魅力にふれる。

期間及び利用時間：9:00～17:00／費用：各体験メニュー内容により異なる(要確認)／問い合わせ先：Tel0558-55-1515

◎グリンピア牧之原(榛原郡相良町)

「お茶と健康」をテーマに、茶摘み・静岡茶の試飲、製茶の全工程の見学を行う。期間及び利用時間：10:00～17:00(4月下旬～10月上旬)／費用：入場料無料(その他、一人当たりの体験メニューとして、茶摘み1,000円)／問い合わせ先：Tel0548-27-2995

◎アクティ森(周知郡森町)

県内陸部に位置し森林に囲まれた体験施設で、専門スタッフの指導により、「草木染め」「陶芸」「吉川和紙」「遠州鬼瓦」などの各種伝統工芸にふれる。カヌー教室を開校。

期間及び利用時間：9:00～17:30(通年、水曜休館)／費用：各体験メニュー内容により異なる(要確認)／問い合わせ先：Tel0538-85-0115

<http://www.actymori.jp/>

県内情報の全般について：

静岡県生活・文化部觀光交流室：Tel054-221-2540

URL <http://kankou.pref.shizuoka.jp/>

静岡県觀光協会：Tel054-255-1388

静岡県東京觀光案内所：Tel03-3213-4831

やりたいことって何だろう、見つけよう自分の夢を。



2003年 関西にオープン!



財団法人産業雇用安定センター 私のしごと館運営準備推進本部
〒110-0016 東京都台東区台東2-27-3 NSKビル4階 Tel.03-5818-3048 Fax.03-5818-2868